

かすみ草活動報告

2016年2月1日
千葉県高齢者福祉研究大会発表！



推薦頂き、関東へ

2016年9月28・29日
関東ブロック高齢者福祉研究大会発表！！



まさかの表彰で推薦頂き
全国大会へ

2017年1月24・25日
全国老人福祉研究会議発表！！



事例紹介で取材依頼が
きました。

日本介護支援協会様の取材があり、
活動を取り上げて頂きました！！！！



平成29年1月に全国老人福祉施設協議会主催の全国老人福祉施設研究会議（長崎会議）に発表者として、かすみ草で取り組んでいる「合同買物会」について「地域が施設に足を運ぶのでなく、施設が地域に足を運ぶ」をモットーに、地域ニーズに沿った貢献活動が実施されるまでの内容を発表致しました！

ここまで来るのに千葉県から推薦を受け、関東の大会で発表し表彰されて全国に！！ あっという間の出来事でした。

中にはこの記事に飽きている方も…いるとか、いないとか。

その後も社会福祉法人の地域貢献活動事例として取材を受けて、冊子にも登場してしまいました。今後も他法人・他施設での魅力的な取組みを勉強させて頂きながら、地域ニーズに沿った貢献活動を実施していきたいと思っておりますので、ご興味のある方はお気軽にご連絡を頂ければと思います！

地域交流センター かすみ草へのご連絡は、
TEL:0120-805-057
E-mail: kasumisou@seimeikai-hanamizuki.com

地域交流センターかすみ草の活動報告 ※大学町各団体関係は、夏祭り、子供会ハロウィン参加、自治会餅つきに参加

交流目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会場貸出し	1	1			1	1							4
地域会議・顔合せ	1			1		1	1			1		1	6
団体送迎										1		1	2
大学町各団体関係						1	2	1		1			5
合同買物会	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
その他		1		2						2		1	9

介護職員初任者研修事業

登録番号	千葉県健指指令第1208号	終了者数	10名
運営主体	特別養護老人ホームはなみずき		前年度末履修科目を受講した2名を含む
定員	12名	研修期間	平成28年11月12日～3月26日
研修方法	通学	研修時間	全130時間
受講者数	10名	指導者数	21名（うち1名は外部講師）

◎社会福祉法人清明会 平成28年度事業報告（八千代拠点）

28年度は、第6期介護保険事業計画の2年目に当たり、第5期対比▲2.7%の介護報酬の引き下げ（処遇改善加算の増額はあるものの実質▲4.4%の大幅減）となり、当初予算策定時には厳しい運営となりました。しかしながら、通所介護の営業活動の強化によって大幅な増収を確保することができました。また、入所部門の空床日数の圧縮や、健康管理に留意した結果、入院期間の短縮に繋がり安定した収入を確保することができました。

昨年度に引き続き、職員の意識を変えていく事を目標として取り組むことで、各職員間の連携がスムーズに運ぶこととなり、互いの状況を理解し協力しあう姿勢が持てるようになってまいりました。その結果、職員が定着し、職員の退職は12名（常勤2名、非常勤10名）と離職率は軽減し、採用者15名（常勤9名、非常勤6名）も滞滞なく確保することができました。通所介護では、毎日、機能訓練指導員を配置した結果、新規利用者45名（中止27名）と昨年（新規39名）を上回る新規利用に繋ぐことができ収入増となりました。

ケアハウスでは、年齢層が高くなり、入院等による認知・身体機能の低下が見られる方でも、安心して生活継続できるよう職員間での意見交換・介護技術向上に注力し、ラゾオ体操参加者のスタンプカードを導入したり、健康維持にそれぞれの目標をもって楽しく生活していただくなどの取り組みを行い、自発的な健康留意を促し共有しております。平成29年度も安心安全な運営が行えるよう、努めてまいります。

◎社会福祉法人清明会 平成28年度決算報告

事業活動計算書
平成29年3月31日現在（単位：円）

区分	本年度決算額
サービス活動収益計	1,384,843,951
サービス活動費用計	1,339,915,399
サービス活動増減差額	44,928,552
サービス活動外収益計	6,422,291
サービス活動外費用計	4,399,403
サービス活動外増減差額	2,022,888
経常増減差額	46,951,440
特別収益計	17,006,096
特別費用計	13,388,803
特別増減差額	3,617,293
当期活動増減差額	50,568,733
前期繰越活動増減差額	877,712,548
当期末繰越活動増減差額	928,281,281
次期繰越活動増減差額	928,281,281

資金収支計算書
平成29年3月31日現在（単位：円）

勘定科目	本年度決算額
事業活動収入計	1,391,068,224
事業活動支出計	1,278,690,289
事業活動資金収支差額	111,377,935
施設整備等収入計	13,305,000
施設整備等支出計	91,559,006
施設整備等資金収支差額	-78,254,006
その他の活動収入計	4,276,888
その他の活動支出計	9,543,609
その他の活動資金収支差額	-5,266,741
当期資金収支差額合計	27,857,188
前期末支払資金残高	603,429,457
当期末支払資金残高	631,286,645

貸借対照表
平成29年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債の部	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
流動資産	741,017,258	流動負債	147,355,429
現金預金	506,134,104	事業未払金	89,175,874
事業未収金	147,006,411	その他の未払金	327,672
未収金	3,554,323	1年以内返済予定設備資金借入金	30,742,000
未収補助金	1,887,181	1年以内返済予定リース債務	6,882,816
貯蔵品	1,956,304	預り金	2,509,067
立替金	57,248,824	職員預り金	3,962,980
前払金	18,130,531	前受金	13,666,190
前払費用	4,919,580	前受収益	88,630
仮払金	180,000		
固定資産	3,205,726,401	固定負債	288,322,321
基本財産	2,753,616,288	設備資金借入金	185,484,000
土地	514,939,874	リース債務	10,213,516
建物	2,238,676,414	退職給付引当金	52,524,805
その他の固定資産	452,112,113	長期預り金	40,100,000
構築物	69,082,930		
機械及び装置	43,896,022		
運搬用具	4,372,546		
器具及び備品	37,935,437	負債の合計	435,677,750
建設費助定	15,591,675		
有形リース資産	17,950,141	純資産の部	
権利	3,753,307	基本金	605,123,647
ソフトウェア	411,840	国庫補助金等特別積立金	1,813,282,981
退職給付引当資産	52,524,805	その他の積立金	164,400,000
長期預り金積立資産	40,100,000	次期繰越活動収支差額	928,281,281
その他の積立資産	164,400,000	（うち当期活動増減差額）	50,568,733
差入保証金	1,814,000		
その他の固定資産	278,410	純資産の部合計	3,511,067,909
資産の部合計	3,946,745,659	負債及び純資産の部合計	3,946,745,659

編集後記

今号は5月30日に行われたゴミゼロ運動を表紙にさせて頂きました。天気に恵まれ、多くの方が参加して頂けました。また、施設で起こった事故、事故の解決、その後の対応、感染症対策、職員研修等を掲載させて頂き、当施設での取り組みを多くの方に知って頂ければと思い掲載しました。

そして、地域貢献に益々努める為、かすみ草メンバーも4月より2名増員し、充実した対応に努めてまいりたいと思っています。地域の皆様にも少しでも、かすみ草の活躍が伝わるよう努力し、皆様のお役に立てる施設であるよう、より一層、頑張っていくたいと思います。（菅谷）

20
2017(平成29)年7月

花ことば

元気に応援します 社会福祉法人 清明会
発行：特別養護老人ホームはなみずき
シヨトステイはなみずき
デイサービスセンターはなみずき
在宅介護支援センターはなみずき
ヘルパーステーションはなみずき
ケアハウス、のんどう
ケアハウス、カーテンがみずき
地域交流センターかすみ草
八千代市高津 緑が丘地域包括支援センター
広報担当：菅谷 智香 【電話】047-480-5050
〒276-0004 千葉県八千代市奥田台 998-4
ホームページ：http://seimeikai-hanamizuki.com/ Eメール：hana-seimeikai@luc.ocn.ne.jp

ご挨拶 はなみずき施設長 近藤健司

530（ゴミゼロ）運動とは、5月30日（語呂合わせ）に街中のゴミを拾い歩く運動で、1975年（昭和50年）に愛知県豊橋市が始め、全国に広がった運動とされています。八千代市としても、国の「ごみ減量・リサイクル推進週間」にかかる事業として取り組んでおり、市民全体で地域のごみ拾いや清掃活動等を行う事により、環境美化や環境保全への意識を高め、拾い集めた廃棄物から資源の大切さを学ぶ機会として実施しているようです。

清明会八千代拠点では3年前から530運動の活動をしております。きっかけは「施設の中で暮らすだけでなく、地域の一人として暮らしたい」という入居者様の声でした。

それまでも外出行事や施設行事を通じて地域の皆様と地域交流をしておりましたが、社会福祉法人として地域貢献も行ないたいという思いもありました。

時は、地域交流センターかすみ草の立ち上げと重なり、「地域と一緒に。」「地域のために。」をモットーに入居者様と職員数人で施設周りのゴミを拾いましたが、徐々に参加者も増え、デイサービスや特養の入居者様も参加し、大学町の方まで足を運ぶこととなりました。

その姿を見て「施設入所していても地域で暮らす生活者」の思いを改めて考えさせられ、これからは、入居者様の声に耳を傾け、一緒に運営をしていき、主体は施設ではなくそこで生活している入居者様なのだということを再確認した530運動でした。



清明会は、地域に根差す施設として未来を見つめ、大事なことは職員一人一人の意識と考えています。この一年の活動の一部をご紹介します。

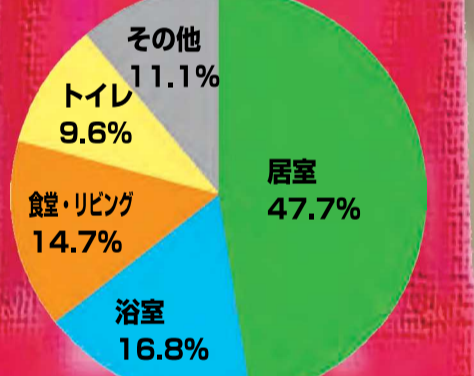
事故対策委員会

平成28年度に特別養護老人ホームはなみずきで発生した事故の概要について、お知らせいたします。始めに、怪我をさせてしまったご入居者様、ご家族様にはご心配をお掛けして申し訳ありませんでした。事故の発生の中には、骨折に至った重症例もありました。しかし起こってしまった事故についての原因と対応策を全職員に周知し、今後の介護に生かしています。また月一回、事故対策委員会を開催して、職員の事故防止に対する意識向上を図れるよう取り組みを行っています。

事故事例

発生日数
197件

発生場所



事故報告書	
ユニコ名	ユコス
発生年月日	平成 28年 月 日 (19時 00分)
利用者氏名	〇〇 〇〇 (〇〇)
発生場所	〇〇 〇〇 (〇〇)
発症状況	〇〇 〇〇 (〇〇)
経過内容及び対応	〇〇 〇〇 (〇〇)
原因の分析	〇〇 〇〇 (〇〇)
今後の対策	〇〇 〇〇 (〇〇)

事故を防止するには、職員一人一人だけでなくチームとしての意識を高めていくことが肝要です。八千代拠点では、上のような「事故報告書」を通して、各グループ、看護師、相談員、管理者へ報告する事により情報を共有しております。「発生場所」「分類」「発生状況」「観察内容及び対応」「原因の分析」「今後の対応」と6つの項目を記載することにより、事故を分析して対策を立て、再発防止に努めています。事故の内容で最も多いものが、「転倒・転落」です。転倒は、健康な方でも転ぶことがあるように、人が動けば事故のリスクは必ず生じます。加齢からくる筋力・身体機能の低下により、それはさらに高くなります。こうした身体の変化や入居者、利用者の行動・性格・生活パターンなどの情報を収集し、事故のリスクを可能な限り抑えることができるよう、また、事故が起きてしまった際には「なぜ事故に繋がってしまったのか」と、事故を起す前の状況にも視点を置き、再発防止に取り組んでいます。



感染症対策委員会

皆さん、こんにちは暑い日が続いています夏バテなどしていませんか？ 介護施設では毎年夏場になると食中毒を心配する声があがります。清明会八千代拠点では、年4回、感染症対策委員会を開催していますが、今回は栗原管理栄養士にご家庭でも役立つ食中毒の豆知識を教えてくださいました。

栗原管理栄養士の食中毒豆知識

夏場のお買い物

- 商品の回転が速く衛生管理のしっかりしているスーパーを選びましょう。
- 消費期限をしっかりと確認。なお、生鮮食品の買い物は一番最後にしましょう。
- 買物の後は寄り道せず、長時間持ち歩かないようにしましょう。

食中毒の原因

- 食中毒の原因には細菌性、ウイルス性、科学性、自然毒性があります。
- 特に発生件数が多いのが細菌性。細菌に汚染された食物を食べることによって起きます。
- 代表的なのは、サルモネラ菌やウェルシュ菌、カンピロバクターなどです。

※日本で指定されているものだけでも16種類もあるんですよ。

夏バテには気を付けて

同じものを食べたのにあたる人と大丈夫な人。重くなる人と軽く済む人。それぞれですね。それは、人それぞれ顔や性格が違うように、個人の体調や免疫力、体内殺菌に貢献してくれる胃酸の量などで症状が異なってきます。特に、睡眠不足やストレス、疲労によって免疫力が落ちたり、胃酸の出が鈍くなったりするので夏バテしないように、体調管理に気を付けてください。

作り過ぎたカレーに注意!

作り過ぎてしまったカレーは、必ず冷蔵庫で保存しましょう。部屋の中がクーラーで冷えているからといって細菌は増えていきます。必ず、冷蔵庫で保存して、食べる時はしっかりと加熱してから食べてください。

お肉は、しっかり火を通して

お肉は、どんなに新鮮でも安全ではありません。お肉に多いカンピロバクターはもともと鶏などの腸にいる菌です。乳幼児や高齢者、免疫力の低下している人は十分に加熱した物を食べるように。自宅で調理する場合は中心まで加熱されているかが大事です。食品の中心温度が75℃以上に達してから1分以上加熱すると大丈夫とされています。切ってみて赤いようであれば、電子レンジでも良いので再加熱をしてください。

当法人では、嘔吐があった場合、他者への感染を防ぐために「感染症キット」を用意しています。

職員研修

各職員が各々の職種に必要な外部研修に参加し、自己研鑽すると共に、施設内でも様々な研修を開催しています。平成28年度は6回の施設内研修を行い「聞くだけでは無い、みんなで参加・実践する内部研修」をモットーに取り組んでいます。では、その研修の一部をご紹介します。



○介護技術研修

外部研修を受けた介護職員が、介護する人も、受ける人も安全にできる移乗を中心とした研修です。介護をする人や受ける人に合わせた移乗方法や、ベッドや布団で寝ている状態から立ち上がるまでの動きを学ぶと共に、日ごろの腰痛予防の為に体操も皆で行いました。

聞いたら即、実践！ 体で覚えよう！！

○感染予防対策研修

(株)リブドゥコーポレーション様の講師をお迎えして、高齢者介護施設における感染対策マニュアルの研修です。感染の定義と種類、標準予防策、感染発生時のポイントを学びましたが、手洗いや防護具など日ごろ、意識せず行いがちな内容の大事さに気が付けられました。



手袋やエプロンの正しい着方、脱ぎ方講座も学びました。



現役救急救命士へしつもん(質問)!



全員参加！ O×クイズ方式

○特徴的な皮膚疾患研修

看護師により疥癬、帯状疱疹、蜂窩織炎の「聞いたことあるけど、実はあまり知らない皮膚疾患」の基礎知識の研修です。発生原因や感染経路、症状や対処方法等、普段携わった事が少ない介護職員にも豊富な情報量で理解が深まりました。

○緊急時の対応研修

現役救急救命士による、救急対応の流れについての研修です。119番をする時、救急隊が到着するまでの対応、到着した時点での対応、さらには日頃の心構えや準備など、明日からすぐ実施できる内容でした。